



日時 2024年5月10日(金)より 全8回 各回 18:30~20:00(質疑応答を含む)
 ※会場受講の方につきましては、第1回・第8回の講義終了後に懇親会(参加費無料)を予定しております
 ただし、新型コロナウイルス感染症の状況により懇親会を中止する場合があります

受講方法(定員) ①会場受講

②オンライン受講

※Zoomでのインターネット配信を予定
 ※会場受講の人数が一定数を超える場合、オンライン受講への変更をお願いする場合があります
 ※受講の手続きについては3月下旬頃にご案内予定です
 ※お申込みの企業・団体内において各回の受講者を変更できる「法人申込」も可能です

会場 オービックホール

大阪市中央区平野町4丁目2-3 オービック御堂筋ビル2F
 (OsakaMetro御堂筋線「淀屋橋」駅 13番出口より南へ徒歩3分、「本町」駅 2番出口より北へ徒歩4分)

受講料 全8回 5万円(税込)

※お支払いは銀行振込に限らせて頂きます(詳細は4月上旬にご案内します)

お申し込み期間 2024年1月15日(月)~3月31日(日) 23:59まで

お申し込み方法 当公開講座は事前申込制となります。

■下記サイトからお申込みください。2024年度の情報は、12月下旬に公開予定です
https://univ.osaka-seikei.jp/lp/seminar_mirai/



全8回 大阪成蹊大学 公開講座

「未来展望セミナー2024」

日時:2024年5月10日(金)より全8回
 各回18:30~20:00(質疑応答を含む)

選べる
受講方法

会場受講
 オンライン受講

[主催]大阪成蹊大学
 [協賛](株)ニッセイ基礎研究所・リソナ総合研究所(株)
 [後援]大阪府・大阪市・大阪府教育委員会・大阪市教育委員会

お問い合わせ先

公開講座事務局 TEL:06-6829-2552(土・日・祝除く9:00-17:00)
 大阪市東淀川区相川3丁目10番62号



大阪成蹊大学
 OSAKA SEIKEI UNIVERSITY



この製品は、適切に管理されたFSC®認証林、再生資源およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。

大阪成蹊大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



大阪成蹊大学駅前キャンパス



Message



学校法人 大阪成蹊学園
理事長・総長 石井 茂

日本や世界を取り巻く環境は大きな変革期にあります。経済発展や情報技術の進歩により人々の生活が便利になった一方で、少子高齢化や国際紛争等、私たちの生きる未来には解決すべき様々な課題が横たわっています。「社会的課題の解決」と「経済発展」を通じてSDGs(持続可能な開発目標)を達成するには、世界の潮流を正しく見極めることが必要です。

5年目を迎える「未来展望セミナー2024」では、今回も各界を代表する著名な講師陣をお招きし、日本や世界を取り巻く重要な課題への理解を深めるセミナーを開講します。

企業の将来を担う方、地方行政に携わる方、若者の教育に携わる方、そして日本の未来を牽引する全ての方のご参加をお待ちしています。

学校法人 大阪成蹊学園

- 大阪成蹊大学
- 大阪成蹊短期大学
- 大阪成蹊大学大学院
- 大阪成蹊女子高等学校
- びわこ成蹊スポーツ大学
- 大阪成蹊短期大学附属 こみち幼稚園

【建学の精神】

桃李不言下自成蹊

とうり 桃李もの言わざれども下のおのずから蹊を成す

大阪成蹊学園の建学の精神ならびに「成蹊」の名称は、中国の司馬遷の『史記』に由来しています。その意味するところは、「桃や李は何も言わないが、その美しい花や実にはひかれて人が集まってくるので木の下には自然と小道(蹊)ができる」という意味です。

徳が高く、尊敬される人物のもとには徳を慕って人々が集まってくるという譬え(たとえ)です。本学の教育は、このような徳のある人物の養成を目標としています。

各回 18:30~20:00(質疑応答を含む)

※会場受講の方につきましては、第1回・第8回の講義終了後に懇親会(参加費無料)を予定しております。
(場所:オービックホール)但し、状況により懇親会を中止する場合がございます。
※講師の所属・役職名は2024年4月時点のものです。

第1回 2024年5月10日(金)

アメリカと世界、日本

国内の激しい分断の中、2024年には次の4年間のリーダーを決める大統領選挙を迎えるアメリカ。これからのアメリカ、世界、そして日本の今後を本講座では展望する。覇権国・アメリカはどこに行くのか。そして、国際秩序はどう変容するのか。この激動の時代の私たちの針路を考える。

上智大学 総合グローバル学部 教授
アメリカ学会会長

前嶋 和弘氏

上智大学外国語学部英語学科卒、ジョージタウン大学大学院政治学部修士課程修了(MA)、メリーランド大学大学院政治学部博士課程修了(Ph.D.)。専門は現代アメリカ政治外交。主な著書は「キャンセルカルチャー:アメリカ、貶めあう社会」(小学館、2022)、「アメリカ政治とメディア」(北樹出版、2011年)など多数。



第2回 2024年6月14日(金)

岐路に立つ中国経済、社会と政治の行方 —日本企業の中国戦略のあり方—

コロナ禍が終息して、中国経済はV字型回復すると思われていたが、実際は回復する力が弱くL字型成長になっている。中国経済が力強く回復していない背景に、大胆かつ有効な政策が実施されていないことのほかに、抜本的な構造転換が行われていないことがある。このまま行くと、中国経済は一段と減速する可能性がある。今回の講演で岐路に立つ中国の将来を示唆することにする。

公益財団法人東京財団政策研究所
主席研究員

柯 隆氏

中国南京市生まれ。留学のため来日し、1994年名古屋大学大学院経済学研究科修士(経済学)。長銀総合研究所研究員として従事したのち、1998年より富士通総合経済研究所、同主席研究員を経て、2018年より現職。静岡県立大学グローバル地域センター特任教授、多摩大学大学院客員教授を兼職。主な著書に「中国強国復権の条件」(慶応義塾大学出版会、2018年、第13回櫻山純三賞受賞)「ネオチャイナリスク研究」(慶応義塾大学出版会、2021年)ほか。



第3回 2024年7月19日(金)

ロシア・ウクライナ戦争と 日本の安全保障

この戦争が現在、どのような様相を呈しているのか。なぜ始まってしまったのか。終結をどう展望するのかなどについてお話しします。

東京大学
先端科学技術研究センター 准教授

小泉 悠氏

早稲田大学大学院修士課程修了後、いくつかの研究職を経て現職。専門はロシアの軍事・安全保障政策。著書に「帝国ロシアの地政学」「現代ロシアの軍事戦略」「ウクライナ戦争」など。



第4回 2024年9月20日(金)

新興国での一般消費者向けビジネス への挑戦、実際の現場と課題

2000年代以降、発展途上国の中でも経済成長が著しい国々は新興国と呼ばれるようになりました。その新興国におきまして、私自身、現地で家庭用殺虫剤を製造し、現地の一般消費者に販売する中で、日本での事業とはまた違った課題に直面してまいりました。その現場での実体験を踏まえながら、新興国での事業を成功に導く鍵について議論したいと思います。

フマキラー株式会社
常務取締役 国際本部長

村元 俊亮氏

1970年大阪府生まれ。京都大学農学部農芸化学科卒、京都大学大学院人間環境学研究所(現アジア・アフリカ地域研究科)修士修了。1999年フマキラー(株)入社。国内の営業支店、営業企画部を経て、2011年フマキラー-インディア社営業マーケティング担当GM。2013年フマキラー-ベトナム社長。2022年フマキラー(株)常務取締役国際本部長。中小企業診断士。



著名な専門家から学ぶ社会人対象の連続講座。

第5回 2024年10月18日(金)

企業変革を実現するためのデータ戦略と実践 —データインテリジェンスの取り組み—

人工知能やデータ分析技術の進展は、企業のデジタル変革のための大きな足掛かりとなった。しかし現実には、事業に本質的な変容をもたらす大きなビジネス価値の創出には至っていないのが実情である。その理由を考察しながら、現在進めている、データから人間の意思決定に直接的に寄与するインテリジェンスを作り出すための取組について紹介する。

花王株式会社
上席執行役員 DX戦略部門
データ知創戦略センター長

浦本 直彦氏

1990年、日本IBM入社、東京基礎研究所にて、自然言語処理やWeb技術などの研究開発に従事。2017年、三菱ケミカルホールディングスに入社。2020年より執行役員CDOとしてDXの推進をリード。2023年4月、花王に入社しエグゼクティブフェローとしてDX戦略を担当。2018年-2020年、人工知能学会会長。



第6回 2024年11月22日(金)

住宅と移住から見る 地方自治の展望

急激な人口減少が進んでいく中で、一部の地方自治体が「消滅可能性自治体」と呼ばれるなど、地方自治がこれまで通り持続可能かどうか懸念されることがあります。変化に直面する地方自治にはどのような対応が可能なのか。住宅という私たちにあって不可欠なものに焦点をあてながら、今後の都市化や人の移動の問題と、そこで地方自治に何ができるかを考えていきます。

神戸大学
法学研究科 教授

砂原 庸介氏

東京大学大学院総合文化研究科、博士(学術)。専門は行政学・地方自治。日本学術振興会特別研究員、大阪市立大学准教授、大阪大学准教授、プリティッシュコロンビア大学客員准教授を経て、2017年より神戸大学大学院法学研究科教授。近著に「新築がお好きですか?」(ミネルヴァ書房、2018年)、「領域を超えない民主主義」(東京大学出版会、2022年)など。



第7回 2025年1月17日(金)

朝鮮半島情勢をどう読むか —政治、文化、歴史、戦略条件から—

これから朝鮮半島はどのようなのか。和解か軍事衝突か。北朝鮮は改革開放に転ずるか。崩壊か。近隣諸国の政策とは、朝鮮半島には、謎が多い。2023年9月は、北朝鮮とロシアの「急接近」が話題になったが、双方接近の背景には何があるか。北朝鮮はいまの路線を続けるのか。経済的困窮下でミサイル開発に多額の予算をつぎ込む意図は何か。それを可能にする経済の仕組みは何か。朝鮮半島統一は起こるのか。韓国社会は朝鮮半島の統一を受け入れるのか、否か。講演では朝鮮半島の文化、発想、政治、経済の仕組みに触れながら、いま朝鮮半島で起きていることを分析して、朝鮮半島情勢の読み方をわかりやすく説明する。

拓殖大学
海外事情研究所 客員教授

武貞 秀士氏

1949年神戸市生まれ。1977年、慶応義塾大学大学院博士課程修了。防衛研究所にはいり、韓国と米国に留学。2011年2月に統括研究官として退職後、2011年から2013年まで、韓国延世大学国際学部アジア専攻コース専任教授をつとめた。2014年1月以降、拓殖大学大学院特任教授、海外事情研究所客員教授をつとめる。専門は朝鮮半島の国際関係論。著書は「東アジア動乱」(KADOKAWA)など。



第8回 2025年2月21日(金)

不安定化する国内外の経済情勢と 金融市場の展望

長引くインフレ、中東情勢の緊迫、中国経済の変調など、世界経済の不確実性が高まっています。新冷戦は国内外の経済情勢にどのような影響を及ぼすのか。中でも日本経済への影響が大きい米国景気の先行き、日銀の動向などをマーケットの視点で見通します。そのとき為替はどう動くか。活性化し始めた日本企業と日本株市場についても解説します。

株式会社ニッセイ基礎研究所
金融研究部 主席研究員
チーフ株式ストラテジスト

井出 真吾氏

1993年東京工業大学卒業後、日本生命保険入社。1999年ニッセイ基礎研究所、2023年より現職。専門は株式市場・株式投資・資産形成・マクロ経済。科学的かつ客観的な分析とわかりやすい解説は定評があり、新聞・テレビ等メディア露出多数。学会活動にも取り組む。主な著書「40代から始める 攻めと守りの資産形成」、「株式投資 長期上昇の波に乗れ!」、「本音の株式投資」(いずれも日本経済新聞出版)

